

第68回 東京大学医学教育セミナー

日本の看護：現在と将来

どのような職業も所属する社会の文化的背景や経済状況に基づいて機能しており、その機能は時代の変遷とともに進化するものだと思う。

現在、わが国では、154万人ほどの看護職が働いている。超高齢社会の日本で、看護はこれからどのように進化してゆけば、社会によりよく貢献できるのだろう。日本の医療は今後、医療経済的にも、人々のニーズによりよく対応するという意味でも、脱病院化が進み、在宅の場で展開されてゆくものと思われる。そのような今後の日本の社会で、看護師はどのような役割を担うことが求められるか、そのためにどのような教育・研究が求められるか、考えてみたい。



山本 則子 先生

東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻
成人看護学 教授

2014年7月28日(月)18:00～19:30

東京大学医学部図書館3階 333会議室

主催・問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科
医学教育国際研究センター

TEL: 03-5841-3583 E-mail: ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp

URL: <http://www.ircme.m.u-tokyo.ac.jp>

※準備の都合上、出席をご希望の方はなるべく
事前にご連絡をお願いいたします。

